

地元の野菜で

つながりの強い地域づくり



▲毎週土曜日に開催される「湯ったり朝市」は、開店前からたくさんの人でにぎわう。

コミュニティ城崎
まちのつながり部

いまいだいすけ
部長 今井大介さん

城崎町在住。コミュニティ城崎の活動に加え、朝市から派生したフードロスを考える「地産地消プロジェクト」や、城崎地域の未来に向けたまちづくりを担う「北但大震災復興100年記念プロジェクト」など、多様な活動に参加しながら、地域とのつながりを築いている。

朝市Facebook▶



城崎温泉の駅通りで「湯ったり朝市」を開催しています。主に城崎の内川地区で作られた新鮮な野菜を出品し、地元の方に喜ばれています。内川地区は城崎の端に位置し、まちを一つの旅館で例える表現で言えば縁側にあたると思います。

朝市を始めたのは、内川地区の採れたて野菜で温泉街の皆さんと交流したいと思ったことがきっかけでした。私も含めた生産者の会がコミュニティ城崎と協力して平成29年に立ち上げ、今では地元の方と生産者が調理法を楽しく話している姿も見られ、朝市をきっかけに地域間のつながりが築けていることを実感しています。

現在は、旅館と生産者と市がワンチームとなり、城崎産野菜をフードロスなく提供する仕組みづくりにも取り組んでいます。地元野菜のバトンで生まれた交流から、さらに先のまちづくりへ。出会いとつながりを大切にしながら、今後も地域の一助になればと思っています。

編集 豊岡市秘書広報課
〒668-8666兵庫県豊岡市中央町2番4号
☎0796-21-9035 FAX24-1004

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

高橋地区で住民同士が一緒に移動する「のんなるかー」の試験運行を開始



マイカー乗り合い交通「のんなるかー」の試験運行が12月21日から、但東町高橋地区で開始されました。

「のんなるかー」は、運転手となる住民のマイカーを活用し、同じ方向に移動したい住民同士が車両に乗り合い、移動する仕組みです。利用者は「家の近くで乗り降りできるので、利用しやすい」と話していました。

当地区と本市は、2月末まで実証運行を行い、今後の地域の移動を支える新たな仕組みとしての可能性を検証していきます。

鉄筋コンクリートを破り、命を救う
ブリーチング訓練を実施



旧市立中竹野小学校の校舎を利用して救助技術訓練を実施しました。訓練では、震災時の救助技術の一つで要救助者救出のために、床や壁等の鉄筋コンクリートを破壊する「ブリーチング」を行いました。今回は、但馬地域の消防本部や兵庫県警察も参加した実践的な訓練となり、隊員間の連携、資器材の有効性や課題を確認しました。

有事の際は、この経験を生かすとともに、関係機関と連携しながら、人命救出に最善を尽くします。

豊岡市 SNS



各施設・事業の SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



環境に優しいペジタプリンキで印刷しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

